

大会特別競技規則

1. 本大会は、2014年日本野球連盟公認競技規則および2014年公益財団法人日本リトルリーグ野球協会公認競技規則を適用する。ただし、投球数規定および登録選手全員出場規定は適用しない。
2. 投手の規則は以下の通りとする
 - 1) 降板した投手はその試合では投手に戻れない。
 - 2) 投手が1日及び1試合に投球できるのは、11歳以上85球、10歳75球。
 - 3) 投手が打者と対戦中に投球制限に達した場合は、その打者の打席が完了するまたは打席中に攻守交代となるまで続投できる。
 - 4) 投手が1試合に20球以内の投球をした場合は、次の試合に投手として出場できる。
 - 5) 投手が21球以上85球までの投球数の場合は、1試合空ければ登板は可能である。
 - 6) 試合で41球以上の投球を行った投手は、その日は捕手を務めてはならない。
 - 7) 試合で4イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない(4イニングはアウト数(12)ではなく、守備についたイニング数である)。
 - 8) 故意四球(敬遠)は投球し、投球数に加算する。
3. 審判は4人制とし、審判員は宮城県協会審判部および各リーグの審判部があたる。
4. 試合中、規則適用の明らかな間違いについては、控審判員と協議の上、解決することができる。
5. 選手は必ず背番号をつけること。
6. 選手は、打者、走者ともに危険防止のため、必ずあごひもを装着した耳つきヘルメットを着用すること。
7. プレーヤーズベンチは、選手20名、監督1人、コーチ2名の最大23名までとする。
8. グランド内(ベンチを含む)は禁煙である。
9. 本大会はリーグ戦方式とする。試合は6回戦とし、4回完了以降7点差以上の場合、コールドゲームとする。サスペンデッドゲームは適用しない。ただし、試合続行不可能の場合は、4回完了をもって正式試合とみなす。
10. 1時間20分の時間制限を採用する。1時間20分を越えた場合、新たなイニングには入らない。
11. 審判員に対する申し出および規則上の異議申し入れは、監督、主将、当事者に限って行うことができる。
12. 試合中、ラフプレーがあった場合は、大会実行委員会において、そのチームの監督および当該選手に退場を命ずることがある。
13. 各チームは必ず責任者が引率し、大会中のすべての行動ならびに応援に対し責任を負うこと。
14. 大会中、不時の負傷または疾病に対して主催者は応急手当を施すが、それ以外の責任は負わない。
15. 大会期間中の事故(トラブルも含む)が発生した場合には、大会実行委員会と当該者ですみやかに協議し対応する。
16. 小雨の場合は決行する。